

サポセン通信

Vol.25

発行：2026年9月

P.02 多目的展示コーナーレポート

Topic!

香害ってなあに？

不安虫ちゃんの参加型パネル展



P.03 市民活動団体インタビュー

Topic!

人と動物の幸せな暮らしをサポートする
浦和あにまるサポーター

P.04 サポートセンター事業紹介 助成金情報

Topic!

ご家庭に余っている食品はありませんか？

浦和パルコと協働！フードドライブ



さいたま市市民活動サポートセンター WEB「さポット」

市民活動に関する様々な情報を日々更新しています！

さいたま市市民活動サポートセンター

検索

<https://www.saitamacity-support.jp/>



香りに苦しむ人がいます

香害ってなあに？ 不安虫ちゃんの参加型 パネル展

過敏症・香害を正しく知る
委員会ホームページ

不安虫ちゃんの
Instagram



←啓発活動をしている
不安虫ちゃん



8月18日～8月24日に多目的展示コーナーで行われた「香害ってなあに？不安虫ちゃんの参加型パネル展」を見てきました。

このパネル展は、生活クラブ生協さいたま市まちづくり委員会が主催です。香害について、イラストや図式、データなどを用いて、とてもわかりやすく展示されていました。

香害とは、柔軟剤や消臭除菌スプレーなどの香りを伴う製品による健康被害のことです。目や喉の痛み、せき、頭痛、めまい、吐き気などを誘発します。香害が高じて化学物質過敏症を発症する人も増えていて、化学物質はあらゆる場所に存在するため、重症化すると学校や仕事に行けなくなってしまうこともあります。

印象に残ったのは、「マイクロカプセル」についてです。よくCMなどで、“1日中香りが続く”というのを耳にしますが、香りを長持ちさせるために微小な粒子状のプラスチックのカプセルに香料を入れたものがマイクロカプセルです。衣類に付着したカプセルが摩擦や熱によって壊れることで中身の成分を放出します。この成分が空気中に長時間漂うことが、苦しさにつながるといいます。

移香（香りが移ること）の問題もあります。例えば、衣類に付着した香りを持つ人が、電車で座ることでその香り成分が椅子に残り、次に座った人がその香り成分を家に持ち帰ることで家族が苦しくなるということがあるそうです。

また、マイクロカプセルはマイクロプラスチックでもあるので、環境問題にも関係しています。



パネル展では、香害について伝える展示が沢山ありました。

化学物質への感受性は個人差が大きいため、同じ環境にいても発症する人としない人がいるそうですが、誰にでも起こりうることです。展示について解説してくださった担当者は、「香害について多くの人に知ってもらいたい。そして日用品を選ぶときに考えてほしい。」といっています。

“知ることが予防につながる”ということを学んだパネル展でした。

（執筆：サポセン通信編集ボランティア）

多目的展示コーナー取材





←さいたま市内区民まつりに参加した際の様子

\HPはこちら/



すべての人と動物たちが
共に幸せに暮らせる社会を
目指して

市民活動団体インタビュー

浦和あにまるサポーター

国民のおよそ3割がペットと暮らすなかで、動物に対する考え方は大きく変化してきました。しかし、依然として、飼い主の都合で終生飼育されずに処分を迎える悲しい命もあります。幸せな共存社会へむけた課題に取り組む市民団体「浦和あにまるサポーター」代表の宇田川さんにお話を伺ってきました。

Q.ペットが保護される背景について、教えてください。

宇田川さん：ペットとして飼われていた動物が保護されることがあります。その理由としては、飼育困難で捨てられる、多頭飼育崩壊、高齢者の飼い主に先立たれるなどにくわえ、災害による被災もあります。震災時の避難所での事例をふまえ、ペットに対するガイドラインも出来ましたが、時間が経つと機能不全なのが現状です。行き場を失ってしまった命を一つでも繋ぎたいと、活動に有効な資格を所有するスタッフ3名でこの団体を作りました。



用意してほしい防災グッズはこれくらい！（猫の場合）

Q.団体の取組みをおしえてください。

宇田川さん：人と動物が幸せになれるよう「適正飼養」の指導と、動物愛護に関する「啓発活動」に重点をおいています。子供たちに弱い命を慈しむ心を感じてもらうイベントや勉強会をはじめ、お互いが最後まで安心して暮らせるようにペット後見や里親支援も提案しています。

防災に関しての意識は自治体によって差があります。さいたま市のペット防災への意識は、十分に浸透しているとは言えない状況です。当団体は防災対策として『ペットの防災手帳』や『避難所ガイド』の配布、マイクロチップの推奨などを行っています。行政と獣医、全国の保護団体と連携して、これまで得た情報を共有することで、諸問題へのアドバイスやサポートに活かしています。

Q 私たちには何が出来るのでしょうか？

宇田川さん：ペットだった存在が人の手をはなれ野生化することで様々な問題も生じています。ノラ犬猫はもちろん、アライグマは繁殖力も強いことから被害も毎年拡大しています。対策や対応は大事ですが、根本的な部分に目を向けることが大切です。ペットを飼った経験のない人も、人間と動物のかかわり方に関心を寄せ、地域で起こる出来事を自分事として考えていけたらより良いと思います。

（執筆：サポセン通信編集ボランティア）

活動のお手伝いをしてくださるボランティアも
随時募集しています！（詳しくは上部の二次元コードから）

浦和パルコ フードドライブ

8月25日(火) 10:00~15:00

浦和パルコ 1F 正面 シースルーエレベーター横 にて開催！



【ご寄付いただける食品の条件】

- ・賞味期限が2か月以上残っていること
- ・常温保存が可能なもの
(生鮮食品や冷凍食品は回収NG)
- ・賞味期限が明記してあるもの
- ・破損していない未開封なもの
- ・お米は常識の範囲内で古くないもの
(精米後3か月以内、玄米は2年以内)

サポセン事業レポート

浦和パルコさんと協働し、浦和パルコ1階ロビーにてフードドライブ活動を実施しました。フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている方々へ寄付をする活動のことです。当日は、開始から1時間で箱がいっぱいになるほどのご寄付をいただきました。お醤油、缶詰、レトルト食品、そうめん、駄菓子など、多様な品目が集まりました。ご寄付いただいた皆様、ありがとうございました。



ご寄付いただいた食品の一部

サポートセンターでは、フードドライブ活動を常時行っております。

食品をお持ちいただいた際は、総合窓口でお預かりいたしますので、受付職員へお気軽にお声がけください！

※ご寄付いただける食品には条件がございます。上記条件をご確認のうえ、ご寄付のご協力をよろしくお願いします。

パネル展情報

クリスマス飾り de 活動紹介パネル展

11月22日(日)~12月25日(金)まで、サポートセンターラウンジにて市民活動団体の紹介をする展示企画を開催します。

展示参加申込は
9月28日(月)10時より
来館、メール、電話
にて受付(先着10団体)



助成金情報

【環境保全活動】

①「環境市民活動助成」／一般財団法人セブンイレブン記念財団

[2026年10月30日(金)まで受付]

【社会福祉】

②認定NPO法人取得資金助成／公益財団法人SOMPO福祉財団

[2026年10月9日(金)まで受付]



①



②

さいたま市 市民活動 サポートセンター

指定管理者：公益財団法人
さいたま市文化振興事業団

所在地：〒330-0055
さいたま市浦和区東高砂町
11-1 コムナーレ9階

お問い合わせ先:

- ▶TEL: 048-813-6400
- ▶FAX: 048-887-0161
- ▶開館時間: 9:00~21:30

改定のお知らせ 印刷作業室料金

印刷作業室内モノクロ印刷機(製版のみ)、高速カラープリンタ、大判プリンタ、販売用紙につきまして、**10月1日(木)**より料金改定いたします。

■モノクロ印刷機	■高速カラープリンタ
製版 50円 (改定前: 40円)	15円 (改定前: 13.5円)
■大判プリンタ	
1,200円 /60cm (改定前: 890円/60cm)	
■厚紙	■普通紙
A3: 40円 (改定前価格: 23円)	A3: 20円 (改定前価格: 7円)
A4: 20円 (改定前価格: 9円)	A4: 10円 (改定前価格: 4円)

ご利用の皆さまにはご負担をおかけすることとなり申し訳ございません。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。